

総合整備計画書

村上市 小岩内辺地

1. 辺地の概況

(1) 人口及び世帯数 93 人 31 世帯

(うち地域の中心を含む 5 km²以内の面積の区域の人口 93 人 31 世帯)

(2) 面積

1.47	km ²	{	宅 地	0.03 km ²
			農 地	0.52 km ²
			山 林	0.56 km ²
			その他	0.36 km ²

(3) 辺地を構成する町又は字の名称 村上市小岩内

(4) 地域の中心の位置 村上市小岩内 1030 番地

(5) 辺地度点数 135 点

2. 公共的施設の整備を必要とする事情

(1) 辺地の地勢及び住民の日常生活の現況

小岩内辺地は、市役所所在地から 14.4km の山間に位置し、冬期間は積雪量が多く、自然条件も厳しい過疎の進む地域である。集落の主幹産業は農業が中心であるが、経営規模は零細で、そのほとんどが兼業であり、後継者となる青年層は市外流出や長距離通勤を余儀なくされている。

市道平林小岩内線から圃場にアクセスするための取付市道の坂路が急勾配であるため、通行に支障が生じている。それに加えて、集落内を流れる小岩内大沢川に架かる永居 2 号橋は、劣化が進んでおり対策が必要な状況にある。また、橋梁脇には下水道管が敷設されている。

(2) 公共的施設の整備についての基本方針

農業が中心のこの地域において市道平林小岩内線及び永居 2 号橋は、集落内を結ぶ生活に欠かせない生活道路である。市道平林小岩内線の道路改良を行うことで、道路利用者の利便性や安全性の向上を図る。併せて、永居 2 号橋を集約化・撤去し、市道小岩内 20 号線の道路改良（付替え）を行うことで、交通の確保、歩行者等の安全確保を図るために重要な役割を担う。また、道路改良に伴い下水道管の集約化・撤去を同時に進め、農村生活環境の改善と下水道施設の維持管理の向上を図る。

(3) 各区分の施設整備についての方針

ア. 交通・通信体系の整備

市道平林小岩内線の道路改良や永居 2 号橋の集約化・撤去を行うことにより、地域住民の安全で安心な道路サービスを提供する。

ウ. 生活環境施設等厚生施設の整備及び医療の確保

小岩内大沢川に架かる下水道管（水管橋）を撤去し、下水道管を集約することにより、地域住民の安全と下水道施設の維持管理の向上を図る。

3. 公共的施設の整備計画

令和7年度～9年度（3か年）

（単位：千円）

番号	施設名	事業主体	事業費 ①	財 源 内 訳		一般財源のうち 辺地対策事業債 の予定額
				特定財源 ②	一般財源 ①－② ③	
1	市道平林小岩 内線道路改良 工事	村上市	53,978	0	53,978	53,900
2	市道小岩内20 号線道路改良 工事（集約・ 撤去）	村上市	34,200	20,315	13,885	13,800
3	市道小岩内20 号線道路改良 に伴う下水道 管渠布設・撤 去工事	村上市	5,000	0	5,000	2,500
合 計			93,178	20,315	72,863	70,200